

# 日刊ハンパク2

## ハンパクの造反

### 注目の日中展示

やはり起るべきことが、起つた。その日の日中展示の時間すき、とつぜん、市民大学テント館のなかから、マイクの声が夜の闇をやぶってひびきわたった。黒い影をひいて数百人が椅子の半ば以上をうすめて、あつまってきた。

「何故あのように日中友好協会がハンパク会場でのスペースが、あんなにも大きいのか?」「その物産展と、反戦は一体どうか、わかるのか?」夜半呼び出された事務局A氏と日中のB氏などがきびしい告発にとりかこまれていた。

「数々の展示アンケートに答えたのは、結果として、今百余名をかぞえるのたわぶが参加団体20しかなかった。」「まだ疑念をもたれている。日中の集上によるリポートは絶対に信任しえない。」「

「では同じ金を払っているのに何故日中はあのように大きな顔をしているのだ。」「土地の大川が問題ではない。どんな内容でハンパクに對しているかだ。」「

「事務局はその内容は規制しない。そ

の具体的展示表現が、問題をさめるといふ立場である。もし物産展がつまらぬものなら、みんながふりむかないだろう。又それそのものとしての意味を失うだろう。

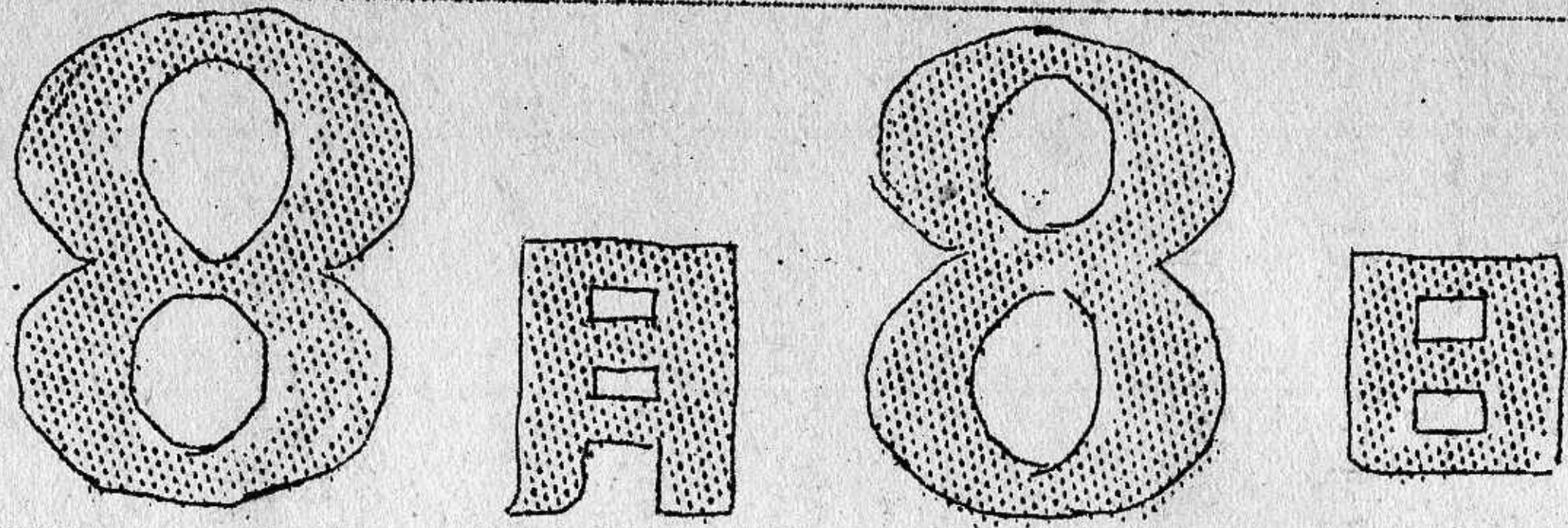
### 反戦と物産展と

どうかかわるか?

「日中はどのような意図で反戦にサンカしたか答えてほしい。物産展は反戦とどのような関係をもつものとしてあるか」という質問に対して日中は「われわれのハンパクに対する参加の仕方は、結果として旧態依然たる形になってしまった。それは現時点における自己の弱さが表わされたものであることを自己批判する。すなわち我々のいう日中友好とはにも向にも中回と仲良くやる物産の展示もそれが中回を知らせるといつ考え方を越えることはできなかつた。」「早朝、さつそく関係者の討論と行動によって処理したいと答えた。」

### 自主的なハンパク参加へ

「問題を争ひ処理上の不手際としてそれをすまそうとしていたハンパク局にこうしている。しかし争ひ局の不手際はあったが、ハンパクの内容はそれに参与する全この者の主体的責任としてあるべきである。」「ハンパクへの不満の状況が今あることを認めたと上で、それを真に斗争にする積



極めかつ具体的行動を求めたい。それ故このハンパクの意味は、今日ここに集まった全この人の自主的路線をうけ入れ、いくらでも柔軟ラムを変更する。」「以上の確認のもとに、二、三の代表的問題提起と討論がおこなわれた。」「

「オニは右翼および権力からの破壊に対するハンパク警備の強化と全員による自主的参加を決定。」「

### たき火規制の意味

「オニはたまたまこの集会の発端となつた。公園内でのたき火の禁止に關する事公局の規制姿勢。それはたき火を禁止する公園条例を破ることによる機動隊導入

のおそれとして二つに意見が対立したが、たき火をするといふことの意味付けが確実になされるならばさしつかえはない。しかしそうでないかぎりたき火はしないといふ決定がおこなわれた。」「

「二の深夜の造反は、いわゆる全共闘、緒セクト学生の問題提起によつてあこがれたものであつて、それには、いわゆる中連主義の限界?への造反的?意図もふくまれてはいたが、日中展示問題や中連、争ひ局をも含めた問題として、殆ど各地なら語られていたことに外ならない。」「当然おこらなくしてあつたことでもある。」「この一連の大家討議は、極めて意義をもつものである。反博女真に反博たりうる方向をあきらめにするものであつた。」「

「ただ、批判者による、この向い以前に自己の取り組み方に向きあつた女性についての発言が充分なされず、なれ合ひ的にまとまっていたともいえないではないだろうか。」「





# よいか

- ★11-1630 「解フォーク」 高校生フォークタウン
- 岡林 中川五郎
- 高田渡 エブルス 高
- 石友也 ほな
- ★13-1400 ハブニク 潮の谷
- ★13-1600 討論会「斗うとは何なり」 北小路 小中陽太郎
- 戸村一作 宮岡政雄
- 野田有三
- ★15-1730 討論会「高校生とは何なり」 反政を訴える会
- ★17-2130 ハンパク市民大学「現代とは何なり」 北沢方邦
- 鶴見良行 山崎春成
- ★18-2100 日中全統「毛沢東思想と学生運動」
- ★17-2200 ハンパクフォークイン ナイト 解フォーク出演者
- 阪大ニク、フロイント
- コトル 西尾真喜子
- ★22- 映画・左殺の森
- タイニンの勝利・現況報
- 告書・近大斗争・地下道
- 戦・夜間中・砂川の人々

## 観客も演技者

残酷劇「白製」ハンパク座公演

定員30人の劇場(?)に200人を詰めこんで、ハンパク座公演。予行兼本番が、ワ一夜、お目見でした。ストーリーは日々成長するハブニクとのこと。

鏡「おろこの手を抱きしめたい(エッ、チヤセリフやなあ、これえ)」。ここで、みんな笑った。けれど何故ななあ?

鏡よ、鏡。私は美しいのだ……。又多爆笑。終ってから観客の一人、曰く「僕自身も笑ったり、テシたりしながら演技するのを当りかと思ってしまう。だって、佐とさんなんぞ、笑いたくとも笑をばいだろっし」。

### 一人ぼっちの裸婦

朝はらちゃん、おはよう。たたくつきのマスキング。お夜になると倒れていた。あちこちとんと腕や首の位置を向き、深き意味がある。うに。その謎をなけりて、立ちまがる人へ。写真をとってゆく人、にたんと笑う人。主人の留聲中の気(???)、そして主人は一人マスキングを残して、フォーク、ケリラ

といっしよに、ネオン輝く夜の街に消えていった。これが「一人」の夜の生態だ。

## チヨツト、アツタ!

「何かを求めてやってきた。ほくみたいな人間かい、ばいいて、何となくもさしぞ動まわっている。それかこんなには深山あつまる。まるで大きな生きものみたいにならんたナア」 (高校生)

「対話、対話、対話はどこに?」 (21才会社員)

「若い人のエネルギーのすそ、私たちの規制された時代になつたものを、自由に外へ出せマ、しあわせ」 (主婦キリスト者)

「一人ぶらりと、やることといえば、あんまりお金もないけど、お金を出すことななあ。きのうの夜から会社の休むを利用して、岡山から来とらんじや。会社の組合にあるけど思っ様にならんから、自分自身をなぐさめに来とらんじや。ふうなもんじや。フォークンクはなぐさめられるからな」 (黒メカネ黒カバンの青年紳士)

「のんびりした気持ちでやっているのを見て、気分がいい。解放区にふさわしいですね。若人(そついうおじいちゃんも気だけは若いじあな

いか)たちの創意工夫が、平和に打つる敬意が感じられるよ。(といつて、坊やの手をとった) (老人、竹録として初見一人)

今日のおおわりー 劇場に入るやいなや、まっすぐお日刊ハンパクを買いに

## 私服を尾行する!

男女立ち止ったのは次の3ヶ所であるーの催成スの傷害写真②山公解放のテント③日中全統の討論会ーなお劇場では、ロンクスピースを一本す

## 有能社員募集

## 無能社員も

## いつでも募集

無能無当 無冷思(マ) 年令性別不問 記者編集販売

留聲生チヨウリス、リン・サセボフア、ントムの記録・新ソ、アの反中口暴行・息子、たらと娘たち、クチの、リラ・ベトナム平和の、い、ス、キ、ト、ツ、メ、モ